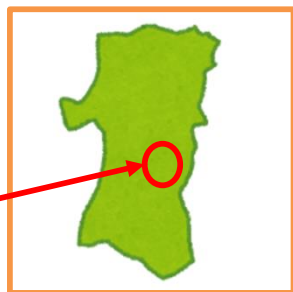


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(30年度:計画作成主体:仙北市地域農業再生協議会)(秋田県)

取組の概要

- 対象品目 : 水稻(産地面積88ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人生保内南、
 常時従業者7名
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H28年度)103,408円/10a
 目標(R02年度)119,336円/10a
 導入施設等 : 整備事業(乾燥調製施設(乾燥設備、粃摺調製設備))

秋田県
 仙北市
 生保内地区



ポイント

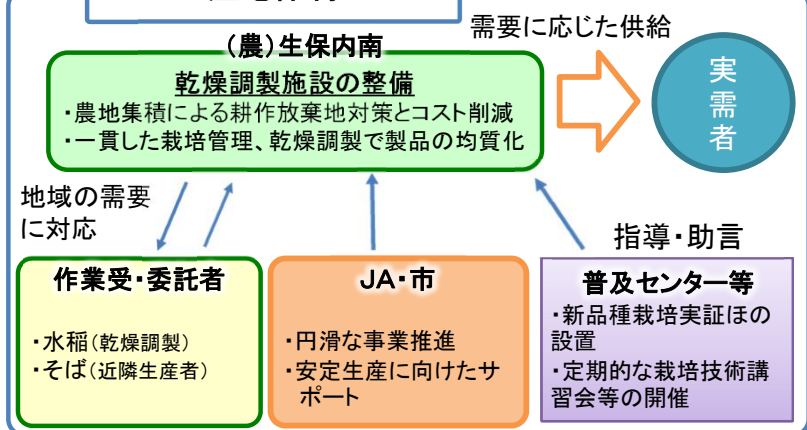
【産地の課題及び取組方向】

秋田県仙北市生保内地区は奥羽山脈の麓にあり、基幹作物である稲作において、立地の課題や高齢化、米価下落により離農が進みつつあり、農地の受け手となっている個人経営の担い手による作業受託では対応しきれない状態にあった。そこで、ほ場基盤整備を契機とした法人設立に併せて乾燥調製施設を整備し、低コスト・省力化を図りながら、農地の集約と米の高位均質化により販売拡大を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①ほ場基盤整備を契機に農業法人を設立し、農地を集積
- ②安全・安心、かつ高品質で均一化されたコメを販売するため乾燥調製施設を整備
- ③法人化で得られた労力と冷涼な気候を活かし、そば・アスパラガスの栽培に取り組む

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・ドローン等スマート農機の導入による水稻作業の効率化
- ・ふるさと納税返礼品への登録

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①乾燥調製施設の整備により、高品質・均一化
- ②累積攪拌式ビンの導入で、適期収穫が可能となり、品質が向上

【事業実施による間接効果】

- ①新法人による農地集約で作付面積が拡大し、生産量が増加
- ②一貫作業による高位均質化により、引き合いが強まり、販売額が増加



**販売額が
 17.5%増加
 (達成率113.8%)**

